

第18回東京大集会 開催要項

「くらしの場を選ぶこと」

「一人暮らし、グループホーム、家族との生活、施設入所・・・いろいろな生活のスタイルがあるけど、どんな生活だって、よい面とそうじゃない面がある。自分がどんなスタイルで生活したいかは、ためにやってみて、自分で決めればいい。(要約)」これは昨年東京大集会の、知的障害当事者の発表の一部です。どこでだれと暮らすか、その選択は人の数だけあって、障害があることを理由に選択肢が限定されてはならないと、国連障害者権利委員会からの勧告でわが国に示されました。現実はどうでしょう？

ここ数年、東京大集会では、「生活の場の確保について」を開催テーマに設定し、障害当事者の「生活の場」について問題提起や施策提言の場としてきました。今年度は国連勧告をふまえ、ほんとうに障害当事者が望む生活の場を「選べる」社会を目指し、障害当事者・支援者・家族・事業者・関係者がそれぞれの立場で、一緒に考え、一歩踏みだせるような集会にしたいと思います。

どこでだれとくらすかは、障害の有無にかかわらず人として大切な権利です。今のくらしが気に入っていますか？そうでないならいつごろ、どうしたいと思っていますか？障害があっても、「自分で選べ」、「サービスの(生活の)質が保たれ」、そして「住む地域によって差が生じない」ことがあたりまえなのが、あるべき社会のかたちです。障害ゆえに望む生活のスタイルをあきらめなくてもよい社会は、いま私たちの立つ足元からつながっている先にあります。

冒頭の発言者は、自らの意見表明をこう締めくくりました。「わたしは、ただ施設やグループホームを作ればよいのではなく、いろいろなひとがいて当たり前な社会になってほしい」。この発言の意味を、ご本人・ご家族・支援者・都議会議員とともに考え、共有し、発信していく場として、第18回東京大集会を下記の通り開催します。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1 配信日 令和6年9月7日(土) 13:00~16:00

2 開催方法  **YouTube** ライブ (*どなたでもご視聴いただけます)

3 主催 東京大集会実行委員会

(*実行委員会構成団体・・・東京都社会福祉協議会知的発達障害部会、東京都発達障害支援協会、東京都手をつなぐ育成会、東京知的障害児・者入所施設保護者会連絡協議会、東京都自閉症協会、日本ダウン症協会)

4 共催 一般社団法人東京都知的障害児者生活サポート協会

5 後援 公益社団法人東京社会福祉士会

6 責任者 東京大集会実行委員長 小池 朗(東京都社会福祉協議会知的発達障害部会長)

7 連絡先 東京大集会実行委員会事務局

社会福祉法人東京都社会福祉協議会 福祉部 児童・障害担当(宮寄)

TEL:03-3268-7174 FAX:03-3268-0635

第18回東京大集会について

【配信日：令和6年9月7日（土）13:00～16:00】

プログラム

(1) 開会挨拶・趣旨説明【13:00～13:10】

小池 朗（東京大集会実行委員長）

(2) 各団体からの発表【13:10～14:10】

- ① 東京都手をつなぐ育成会
- ② 日本ダウン症協会
- ③ 東京知的障害児・者入所施設保護者会連絡協議会
- ④ 東京都自閉症協会
- ⑤ 東京都発達障害支援協会
- ⑥ 東社協 知的発達障害部会

～休憩～

(3) パネルディスカッション【14:20～15:50】

自民党、都民ファーストの会、公明党、共産党、立憲民主党にご登壇いただき、「くらしの場を選ぶこと」についてパネルディスカッションを行う予定です。

(4) アピール文・閉会挨拶【15:50～16:00】

主催団体代表者より、各関係機関等に向けたアピール文を発表します。

第18回東京大集会視聴サイトアクセス方法

東社協知的部会 検索



【東社協知的部会ページ】

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/chitekisyogai.html>

にアクセスをしてください。



「2. 研修・イベント等活動」の項目に Youtube ライブの再生画面を掲載します。

当日（9月7日（土））はそちらをクリックいただければ13時より生配信されますので、ぜひご視聴ください。